

会 議 録

会議の名称	令和7年第2回 次期総合計画等策定委員会
開催日時	令和7年8月22日(金) 午前9時00分から午前10時20分まで
開催場所	和泉市役所 3A・3B会議室
出席者	【出席者】 森吉副市長、並木副市長、大槻教育長、堀危機管理部長、前田市長公室長、 土本総務部長、山崎環境産業部長、西川福祉部長、立花市民生活部長、 藤原子育て健康部長、林田都市デザイン部長、辻教育次長兼生涯学習部長、 東教育・こども部長、近藤上下水道部長、式森消防長、森行政委員会事務局長、 上岡議会事務局総務課長(井阪議会事務局長代理) 【事務局】 (政策企画室) 門林政策企画室長、福田企画経営担当課長、田嶋政策・資産マネジメント担当課長、 奥山総括主幹、加藤総括主幹、江口主査、伊賀主事 (人事課) 尾郷市長公室次長、山口人事課長、井阪課長補佐 (財政課) 佐々木総務部次長、左海財政課長、川野課長補佐 (有限責任監査法人トーマツ) 増田
会議の議題	1. 第6次総合計画の素案について 2. 次期創発プランの素案について 3. 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について その他
会議の要旨	第6次総合計画、次期創発プラン、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について、 議会に提出するにあたり、内容確認・意見交換し、一部修正を反映のうえ、第3回定例会3 常任委員会協議会へ報告することとした。
会議録の 作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

事務局	【前回の振り返り】 (事務局【政策企画室】から、次第について説明) 質疑等がなかった。
事務局	【次第1 第6次総合計画の素案について】 (事務局【政策企画室】から、資料1について説明) 総合計画素案について質疑はなかった。
事務局	【次第2 次期創発プランの素案について】 (事務局【政策企画室】から、資料2・参考資料について説明) 次期創発プラン素案について次のように質疑等があった。
辻教育次長	OP8 の①ミュージアムタウン構想のさらなる推進について、施設のリニューアルに係る事業費は収支見通しに含まれているという認識でよいのか。
事務局	○想定事業費として記載している金額を収支見通しに含んでいる。
式森消防長	OP37 の大学院等就学費用補助制度の導入について、卒業・資格取得後、すぐに退職してしまうということを避けるための対策を検討しているか。
事務局	○制度設計の詳細は今後検討していくが、大学院卒業・資格取得後、補助上限額を5年間にわたり、分割し、各年度末に支給する。また、年度末に在職していることを支給要件にする想定である。
並木副市長	○各施策の取組において、想定事業費を掲載している事業があるが、事業費が一定金額以上や市長公約事業等の具体的な選定基準はあるのか。
事務局	○具体的な選定基準はないものの、総合計画の施策ごとに分類し、その中で財政収支見通しに大きな影響が想定される事業を中心に選定している。また、各施策に対して、最低1事業は想定事業費を掲載するよう設定している。
並木副市長	○選定理由を聞かれた際に対応できるように内部的に一定の目安を設定しておく方がよいと考える。

森吉副市長	○P31 の財政健全化の取組の【⑩温水プール(サン燦プール)の事業廃止】【⑪生涯学習サポート館の事業廃止】について、どのタイミングで議会に示すべきか意見をいただきたい。公表後の反響によって、事業の推進が困難になるということは避けたいと考えている。この2事業について、議会や地域との調整状況を教えていただきたい。
辻教育次長	○議会に対しては既に調整を進めており、地域にはまだ調整を行っていない。 ○【⑩温水プール(サン燦プール)の事業廃止】については、議員から大きな反対意見はない。温水プールは府営住宅との合築のため、事業廃止しても売り払うことはできない施設であり、事業廃止後の民間活用を検討してほしいという意見は議員からあった。泉大津市・高石市・泉北環境整備施設組合からも反対はなかったが、泉大津市から事業廃止の際に泉大津市の負担が生じるのかという質問があり、その点は今後の課題として認識をもっている。 ○【⑪生涯学習サポート館の事業廃止】についても、議員から特に反対意見はない。ただし、体育室やトレーニング室の利用者から反対の声があるかもしれないと気にしている議員はいる。
森吉副市長	○【⑪生涯学習サポート館の事業廃止】については、過去にサンライフ和泉が閉鎖する方針を出した際に、地域からの反対意見が多くあったことから存続に切り替えたという経過がある。施設の老朽化や生涯学習センターの利用率が下がってきていることから、生涯学習センターをサポートするという機能が薄れていることを踏まえ、廃止を検討することとしている。一部利用者から反対はあるかもしれないが、事前調整は一定進めているということを理解した。 ○【⑩温水プール(サン燦プール)の事業廃止】については、建設当初、泉大津市・高石市・本市の3市が資金を出し合って整備した経過もある中で、泉大津市と高石市も理解を示してくれているということを理解した。懸念しているのは、泉北環境整備施設組合の炉の建て替えに関して、移転先が決定していないことである。周辺地域の反応も考慮して進める必要があると思うが、次期創発プランで本事業を記載していくことについて環境産業部から意見はないか。
山崎環境産業部長	○温水プールは教育財産であるものの、廃棄物処理の排熱を利用しており、環境施策と関連性が高い施設であるが、事業廃止という方向性に反対するものではない。しかしながら、過去の経緯を考慮すると、新炉の整備とあわせて情報発信する方が、その後の関係者との調整がスムーズだと考える。 新炉の整備について、もう少し時間の猶予をいただければ、議会、泉北環境整備施設組合や地域へ報告する機会があるので、それまでは、もう少し抽象的な表現に留める方がよいのではないかと考える。
森吉副市長	○効果額について「方針決定後に効果額を計上」といった記載でも良いかと思うが、調整にあたってはどの程度の猶予期間が必要か。

山崎環境産業部長	○泉北環境整備施設組合と令和7年度末を目途に新炉の設置場所について協議し、議会にも説明していく予定である。
森吉副市長	○【⑰生涯学習サポート館の事業廃止】については、効果額を現行案のとおり計上してよいと思うが、【⑯温水プール(サン燦プール)の事業廃止】について効果額を計上しないのであれば、5億円の財源がなくなり、財政収支見直しを見直す必要がある。本日の議論で決定した内容にて議会へ報告するというスケジュールであったが、もう少し議論を重ねるべきと考える。
並木副市長	○同意見であり、本日の議論だけでは結論を出すことは困難と考える。
大槻教育長	○令和7年度末であれば決定できるという根拠は何なのか。
山崎環境産業部長	○新炉については、泉北環境整備施設組合の一般産業廃棄物処理施設立地検討委員会で検討を進め、その答申内容については、議会にも報告している。今後、3市の首長と泉北環境整備施設組合の議会での判断が必要となるが、その時期を今年度 12 月～3月を予定しているからである。
森吉副市長	○【⑰生涯学習サポート館の事業廃止】については、現行案のとおり記載することとし、【⑯温水プール(サン燦プール)の事業廃止】については、財政健全化の項目としては記載するものの、内容については再検討することとする。財政健全化の効果額が5億円減少することへの対応については、両副市長と企画・財政部局と調整することとする。
辻教育次長	○定例教育委員会が来週にあるので早めにご判断いただきたい。 【次第3 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について】 (事務局【政策企画室】から、資料3について説明) 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について次のように質疑等があった。
近藤上下水道部長	○誤字があるため、確認・修正をお願いする。 【指摘箇所】 ➤ P2 の子育て世代移住・定住バスツアーの年間参加組数について、単位が「人」となっているが「組」ではないか。 ➤ P11 の道路の延べ舗装修繕補修区間数について、単位が「区画」となっている。 ➤ P13 の表の指標数に関して精査・確認いただきたい。(達成度 100%が 5 個となっているが実際には 6 個存在している等)
森吉副市長	○総合計画、次期創発プラン、総合戦略の素案について、第3回定例会3常任委員会協議会に報告する。協議会での対応については、全体的な説明は事務局にて対応し、各事業に対する質問に関しては担当課にて対応をお願いする。

事務局	○本日いただいた意見について修正し、議会へ報告する。各課にも照会しているので、8月25日までに確認いただきたい。本日の委員会については以上とする。 以 上
-----	--